

令和3年度
学校関係者評価報告書

学校法人 江楠学園 佐賀工業専門学校

1. 学校関係者評価の目的

学校法人江楠学園佐賀工業専門学校における学校関係者評価は平成19年に学校教育法及び学校教育法施行規則の改正により、自己評価、学校関係者評価の実施・公表、評価結果の設置者への報告に関する規程が新たに設けられたことを受け「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って以下のことを目的として実施する。

- ① 自己点検評価の結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己点検評価結果の客観性・透明性と併せて信頼度を高める。
- ② 学生・卒業生、関係業界、中学校・高等学校、保護者・地域住民、所轄官庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する方々からの理解促進や連携協力により学校運営の改善を図る。

2. 学校関係者評価委員の構成

学校評価委員は、以下の人員で構成する。

- ・ 関連業界等関係者 5名
- ・ 教育に関し知見を有する者 1名
- ・ 卒業生 1名

3. 学校関係者評価の実施方法

令和4年5月11日（水）

佐賀工業専門学校 多目的室

参加者 委員 6名 事務局 4名

学校関係者評価委員の皆様には、事前に郵送等で配布した報告書並びに本校のホームページ上で公開されている学校情報等で理解を深めていただいたうえで、令和3年度自己点検評価の成果をもとに意見交換を通して得られたご意見を取りまとめた。

4. 学校関係者評価委員からの意見並びに特記事項

(1) 教育理念・目標

❖特記事項

- ・自動車学科においては、急速に進む電動化にも対応できるメカニックを養成することが必要となる。併せて国家資格の自動車整備士技能検定等の一部を改正する省令が令和4年4月に公布され、施行は令和9年1月1日と公表されたため対応策の検討が課題となる。
- ・エアポートサービス学科においては、コロナ禍にあって昨年度の求人は厳しい環境であったが令和4年度の採用は通常に戻りつつあり、更に質の高いグランドハンドリングスタッフの養成に取り組まなければならない。
- ・学校の理念の周知については、保護者への周知方法と評価アンケートによる確認が求められる。

(2) 学校運営

❖特記事項

- ・教育活動等の公開については、学生募集に直結することからホームページ等を活用し、タイムリーな情報発信に引き続き努める。

(3) 教育活動

❖特記事項

- ・教育活動では大きな課題はないものの自動車学科においては、自動車の新機構・技術に関する研修会等への参加は、指導力の向上に結び付くため積極的に行う。
エアポートサービス学科において、本校の大きな特色とも言える校内並びに現地空港での実習・研修をより実践的なカリキュラムとなるよう編成する。

(4) 学習成果

*委員からの意見

- ・卒業生の把握について改善を要するのではとの結果が出ていますが、卒業生のすべての把握は困難であり認識の統一を図られたら如何でしょうか？

例えば：卒業後3年間の動向確認など

(学校からの説明：数千名の卒業生の動向把握は難しく、ある程度の期間を定めることで把握は容易になるため教職員の認識の統一と具体策の実行に努める。)

- ・保護者の学校評価アンケート(配布資料)の自由意見では良いコメントしかありませんが要望などはありませんでしたか？

(学校からの説明：保護者アンケートの自由意見は原文そのままを転記しております。本年度は高評価のみのご意見でした。昨年度のご意見の中に「保護者にもっと学校へ行く機会(参加できる機会)がもっとあれば良かったなと思います。原文」がございましたので、本年度の入学式を校内で挙行いたしました。今後も機会を模索していきたい。)

❖特記事項

- ・卒業生の社会的な活躍及び評価の把握についての具体策として、企業訪問に併せ採用企業に対してアンケートの実施が改善に繋がるものと思われる。

(5) 学生支援

❖特記事項

- ・大きな課題はないと思われる。キャリア教育・職業教育の取り組みについては、県主催の高等学校啓発ガイダンスへの参加することで連携を図っている。この活動が募集成果として表れてくることに期待をする。
- ・保護者との連携については、適切なタイミングで3者面談など行い問題の早期解決に今後も努めていきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症対策はこれまで同様に取組み、対面授業の継続を確保する。

(6) 教育環境

❖特記事項

- ・コンピューター室のインターネット環境整備については、採用企業による企業説明や採用試験においてもWEBでの開催が日常となり複数名での受験に対応できる環境を整えなければならない。
- ・インターシップについては、貴重な職場体験の場ではあると理解しつつも現在のコロナ禍のなかでは、協力企業と学生の安心安全を最優先すべきと判断している。ただし、再開に向けた環境を整えば企業並びに保護者の同意を得て再開したい。

(7) 学生募集

*委員からの意見

国家試験の合格率・就職実績など広報材料は揃っている。学生確保によって企業の採用計画も成り立つことから引き続き積極的な募集活動を行っていただきたい。

(学校からの説明：本校の第一優先の課題と言える。多くの受験者を確保し養成して企業に送り出す専門学校の使命をしっかりと果たしていきたい。)

❖特記事項

- ・昨年度に続きコロナ禍のなかの募集・広報活動に併せ高校生の高就職率の影響を受け成果を得られなかった。同学園高等学校からの入学生を確保する具体策として、2年生次からの体験型説明会など積極的なアプローチで進学の魅力を発信し受験者の増加に結び付けたい。また、県外からの受験者確保についても、これまで同様に募集活動に取り組む必要がある。

(8) 財務

❖特記事項

- ・財務基盤の安定は、学生数の充足率に比例することから、7項の学生募集の改善を図ることが絶対条件となる。

(9) 法令等の順守

❖特記事項

- ・法令・設置基準並びに自己評価の公開等は、適切に実施され遵守されている。諸処の問題点の改善を如何に取り組むかが重要となる。

5. 学校関係者評価総括

令和元年度並びに2年度においては新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、文書による意見聴取といたしました。3年ぶりで対面での委員会の開催となり、各委員の皆様の生の声を頂戴できる貴重な機会となりました。賜りましたご意見・ご助言等を今後のより良い学校づくりに活かし、自己点検評価が真に役立つものとなるよう職員一同、引き続き取り組んでまいります。